

2024年度全日本学生バドミントン連盟第1回代議員総会参加者・出欠確認

全日本学連役員（敬称略）		23日
顧問	関根先生	×
名誉会長	宮崎	○
会長	北見	○
副会長	宮崎	○
副会長	平野	○
競技部長	大束	○
競技部	古財	○
渉外	有吉	○
広報部	井上	○
競技部	渡辺	○
会計	林	○
監事	喜多	○
監事	町並	×
委員長	福田	○
副委員長	臼井	○
副委員長	大口	○
会計	青木	○

各地区常任委員（敬称略）			
北海道	会長	土江田	谷さん出席
	委員長	臼井	○
東北	会長	千葉	○
	委員長	小野寺	○
関東中	会長	平野	○
	委員長	山家	○
部関西	会長	佐藤	○
	委員長	大口	○
中四国	会長	宮崎	○
	委員長	竹森	○
九州	会長	北脇	○
	委員長	永吉	○
	会長	井上	○
	委員長	松谷	○

北海道	笠井	× 谷委任
	中村	× 臼井委任
東北	阿部	× 羽鳥委任
	羽鳥	○
関東	升	× 佐藤委任
	佐藤	○
	北川	× 小山委任
	小山	○
中部	藤巻	× 佐藤委任
	気谷	○
	吉田	○
関西	橋本	○
	安川	× 竹田委任
	竹田	○
中四国	濱本	○
	西崎	○
九州	吉森	○
	山口	○

出席確認 4 4 名中 3 4 名出席

第 1 回代議員総会議事録

令和7年2月23日

司会：全日本学連委員長 福田

議長：全日本学連会長 北見

書記：中部学連委員長 大口

関西学連委員長 竹森

記

- 1 実施形態 Web会議
- 2 日時 令和7年2月23日（日）10:00～15:00
- 3 会場 日本体育大学健志台キャンパス（ホスト）Web会議（zoom）
- 4 議題・報告事項

議事 1

報告1) 2024年度全日本学連事業報告、決算報告、監査報告

○加盟登録書類の改訂について

【第1回常任委員会で報告した通り、加盟登録書類の形式が変更となる 振込み間違いや記載間違えないように正確に行うこと】

👉 加盟登録の書類のフォーマット変更 各学連で確認、周知する事。

監事報告：会計監査において会計処理が正確に実施されており全く問題はなく特段の指摘事項

はない。

業務監査においても学連運営・大会運営（会場設定に配慮が必要である）について
特段の指摘事項はない。

報告2) 2024年度各地区学連事業報告及び決算報告

報告3) 2023年度主催大会決算報告

以上、報告1)～報告3)について資料を基に報告され、異議なく承認された。

審議2

審議1) 2025年度全日本学連事業計画案及び予算案

☞ 会計の林さんから予算書の説明があり、日バからの補助金100万円が2月に振り込まれたため、決算書では補助金額が0円。2025年分として入る可能性があるので予算案で100万を計上調整している。

☞ 支出の選手強化派遣費、来年度はユニバーシアードがあることにより例年より増額している。

審議2) 2025年度各地区学連事業計画案及び予算案

審議3) 2025年度主催大会要項（案）及び予算（案）

☞ シャトルの価格高騰などの影響により、これまで1種大会のベスト4以上はトーナメントを使用していたが、学連主催の1種大会はニューオフィシャルを使用する。

審議4) 2025年度全日本学連学生役員について

☞ 福田委員長から2025年度学生役員について提案があった。

以上、審議1)～審議4)について、資料を基に報告され、異議なく提案通り可決された。

議事3

報告4) 東西インカレ大会「開催中」の棄権申し出に対する対応について

➡「インカレ出場要件」に追記して全日HPに掲載済。

報告5) 国際大会選手選考基準の改訂

➡「国際大会参加選手選考に関する申し合わせ」を加除修正して全日本HP掲載済。

報告6) 「2024ヨネックスカップ中国バドミントンエリート招待会」への役員 及び選手派遣について

➡全日本HP掲載済。

報告7) 学連杯（全日本学連学生委員慰労会）の予算について

➡実施済。

報告8) 日バへの1種大会開催予定報告（2年前）について

➡会場及び期間が未確定の場合は「未定」報告で可。

報告9) 令和6年度第1回常任員会議事録

➡議事録を全日HPに掲載。

報告10) 大会参加申し込み⇄日バ加盟登録確認システムのリンク運用の問題点整理

➡①「日バ登録確認システム」の総括。

☞ 登録システム確認システムの説明を行い、会員番号、カナ氏名、生年月日で判断している為間違えなく入力するよう各地区で周知が必要

☞ 今後も運用を継続していく方針であり、学連だけで確認をとれるよう（使用権限移譲）日バと調整中

➡②各地区学連担当者（大人）選出➡講習会実施（Web）。

➡③R7年度；全日本インカレ（団体・個人）・東西インカレで運用。

☞ ダブルスの参加数をペア数ではなく参加人数に記載することになる。ミックスでも同様。

☞ 選手情報はカタカナ ひらがなの統一が必要ではないかという質問に対してカタカナに統一する。

➡④地区学連大会にも適用可能。

報告11) 日本学生ポイントランキング⇄シード決のリンク運用の進捗状況

☞名前を選択することでポイントが出るシステムを3月末までに作成したい。4月から運用可能にする予定

報告12) 1種大会「要項」「式次第」「大会役員」「競技役員」のひな形について

☞令和7年度以降は全主管学連で「ひな形」を基に書式を統一する。

☞要項の主催の部分是一般社団法人の名称は付けないのか？という質問に対して正式に決定していないため、現段階では記載しないと回答。

報告13) 加盟・登録数の増加対策：

①同一法人の短期大学と大学とのチーム編成

② 省庁立大学校の全日本学連への加盟登録

① 省庁立大学校の全日本学連への加盟登録（規約改正）→スポーツ庁の回答→全日本学連規約改正のみで対応可

② 同一法人・同一キャンパスの短期大学と大学とのチーム編成→細部について継続審議

☞報告13は常任委員会の報告と同様であり、質問もなし。

報告14) スポンサー獲得に向けてユニバスとの協力体制の構築

以上、報告4)～報告13)について資料に基づいて報告があり承認された。

議題4

審議5) 全日本学連スポンサー募集の基準について

→協賛内容と協賛金の基準。

→全日本学連と各1種大会主管学連とのスポンサー競合を避ける基準。

☞全日本学連全体を応援していただける企業を募りたい

☞主に選手強化費に費やすための協賛をいただくためのアイデアをPDFで共有しながらスポンサー獲得するための戦略を説明した。

審議6) 全日本選手権大会（個人戦ミックス）のポイント表について

→①R7年度実施。

→②各地区大会選手権大会（個人戦）を3種目から2種目選択制に変更が必須。

※各地区学連に連絡済（2024.12.23.）

→③各地区大会選手権大会（個人戦）を3種目全選択にするか2種目選択にするか各地区の判断に任せる→ただし、インカレ（個人）・東西インカレが2種目選択なので、地区大会でポイントを加算できるのは2種目になる。

☞北海道から地区大会北海道選手権の位置づけとなっていることで、2種目にするのが難しいとの話があった。これに対し、2種目になることは強化のためであることを再度説明し全日本学連として7地区で統一したいという意見が出た。

北海道としては2種目選択に反対の意見はないので、北海道協会でも検討するとの回答だった。

→ポイント制導入の趣旨を説明再確認。

審議7) 東西インカレシード数&審判員について

① 各地区学連 & 対象者にアンケート調査実施結果。

→あ) 大多数が現行制度に賛同。

→い) ポイント保有者全員をシード枠に入れる。

→う) 種目ごとにシード枠数を決める。

→え) 種目ごとにシード枠に入るポイントを決める。

上記 あ) い) う) え)の中から決定。

2025年度については「い) ポイント保有者全員をシード枠に入れる。」を適用する。

② スーパーシードについて（ポイント保持者32or64シード案について）

☞試合後にアンケートを取る

☞64シードまでスーパーシードにすると同ポイントで入れた人と入れなかった人が不公平になってしまう為64の同ポイントまでスーパーシードなどの配慮はできないか

☞試合進行を優先するなら64が妥当だが、選手の平等性を考えると32

☞シードを設けることの本来の目的は、強い選手を配置することであることから、64シードだと拾いすぎている。

☞九州以外は32シードまでと意見がまとまった。

エントリー数320以上で32シードのスーパーシードを適用

③ 団体戦3位決定戦についての提案（検討）について

☞団体戦の3位決定戦は実施する方向。タイムテーブルの都合でどうなるか予想できないため、東西どちらかがスケジュール上不可能な場合はどちらも実施しない。

④ 1種大会での3級審判資格者による敗者審判制（準決勝以降は除く）導入。

→1種大会要項に審判（出場競技者敗者審判制：準々決勝まで）変更点を記載する。

→審判服装について。

☞長ズボンを履く、状況に応じてはレフェリー判断

☞各主管学連は審判人員確保の見通しを立てることが必要である

審議8）ポイント制導入及びインカレ団体大会・個人大会分離に伴う申込締切&組み合わせ会議の日程変更

→①東西インカレ：大会；8月下旬～9月上旬・

組み合わせ会議；8月上旬

※R7（案）：東日本大会；8/23～31・西日本大会；9/1～9

組み合わせ会議；8月2（土）～3（日）

→②インカレ：選手権大会；10月中旬／大学対抗戦；11月上旬・

組み合わせ会議；9月中旬～下旬

※R7（案）：選手権大会；10/10～16・大学対抗戦；11/6～9

組み合わせ会議；9月20日（土）～21日（日）

審議9）一般社団法人化に向けての規約改正

☞常任委員会同様の説明

審議10）インターンシップ実施に向けて日本バドミントン協会との協力体制の構築

☞ 常任委員会同様の説明

以上、審議5)～審議10)について資料を基に提案があり、審議の結果異議なく可決された。

その他報告事項

☞ 大東競技部長よりユニバーシティーゲームズの候補の報告

☞ 全日本主催でない競合の大会と日程が被る可能性がある為、学生がどの大会に出たいかという意思を尊重する。東西インカレに特別な理由で出られない場合は選手の不利益にならないよう対応。

☞ 来年度事業報告。第1回全日本学生連盟代議員総会が2月21日22日に変更。定款が変わることによる会議名変更の可能性。

【その他報告事項：令和6年第1回常任委員会報告済】

- (1) 令和6年度各種大会内容：組み合わせ基準（ポイントランキング制）【実施】
- (2) 令和6年度全日本ミックス：シード枠変更（16→32）【実施】
東西インカレ：シード枠変更（32→64）【実施】
- (3) 加盟登録書類（大学名簿・登録名簿・加盟登録費納入表）の改訂【実施】
- (4) 令和7年度東西インカレ大会内容（令和8年度のプレ大会と定義している）【周知】
- (5) 選手強化：強化合宿（全日本総合・中堅選手育成強化）【実施】
- (6) スポンサー（ラクリ・専門店会・他）【実施】
- (7) インカレ映像配信【実施】
- (8) 1種大会：要項・競技規則（競技運営）・式次第・
役員名簿等の記載内容統一雛型【実施】
- (9) 学生強化チーム編成（今年度は「全日本総合参加選手」「来年度ユニバーシアード選考選手」を対象）【実施】
- (10) スポンサー獲得⇒スポンサー選定【実施及び進行中】
- (11) インカレ経費：予算再配分【実施】
- (12) インカレカップ：新調（男子団体）・大会名銘盤変更・優勝旗短冊新調（新大会名）【実施】
- (13) ユニバス参加：ユニバスカップ対象大会・動画配信【実施】・
医療従事者費用補助【検討中】

上記内容は総会（2024.2.25.）において令和6年度施行予定で議決された案件（1・5・6・7・10・11・13）並びにその後 web 総会で議決された案件（2・11）及び関連事項（3・4・8・9・12）。

以上、再確認して承認された。

2025. 2. 23.

議事録署名人

全日本学生バドミントン連盟 会長 北見正伸



全日本学生バドミントン連盟 総務部長 平野泰宏

